

被爆ピアノの音色

市民ら100人聴き入る

平和祈念コンサート

大津 戦後65年を迎え、改めて平和の尊さを考えようと、大津市御陵町の大津市歴史博物館でこのほど、「平和祈念ピアノコンサート」(同市主催)が開かれた。5〜80歳の市民ら約100人が「被爆ピアノ」の演奏に耳を傾けた。

【村瀬優子】

活動を続けている大阪府在住のピアニスト、山田紗耶加さんが、平和を願って作曲した曲や、「千の風になって」など16曲を演奏。合間

には「明子さんが大好きでよく弾いていた曲です」など、曲の背景が説明された。

演奏に聞き入っていた大津市の無職、南出映子さん(60)は「被爆ピアノのことを初めて知った。聴いていると涙が出た」。演奏した山田さんは「音色が優しく、初めて弾いた時は亡くなった人たちのことを思って、鍵盤が涙で曇った」と話していた。

ピアノは、広島市内で学徒動員され作業中に被爆し、19歳で亡くなった河本明子さんのもの。ガラスの破片が突き刺さり、傷跡が残っている。05年から被爆ピアノでコンサート



被爆ピアノを演奏する山田紗耶加さん
— 大津市御陵町の大津市歴史博物館で